



平成15年2月27日

各 位

会社名 株式会社 ノジマ
代表者名 代表取締役社長 野島 廣司
(登録銘柄 コード番号 7419)
問い合わせ先 経理部長 庄司 友彦
TEL 042-753-1422

平成15年3月期通期の業績予想の修正について

平成14年11月11日付当社「平成15年3月期中間決算短信」にて発表いたしました、平成15年3月期(平成14年4月1日から平成15年3月31日)の通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 個別業績予想

通期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	82,000	810	270
今回修正(B)	75,000	640	120
増減額(B-A)	7,000	170	150
増減率	8.5%	21.0%	55.6%

2. 連結業績予想

通期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	91,000	840	270
今回修正(B)	85,000	840	240
増減額(B-A)	6,000	0	30
増減率	6.6%	0%	11.1%

3. 修正理由

(1) 昨年末に推進した店舗改装の効果により、年末・年始の商戦でAV、家電中心に善戦した部門もありましたが、長引くIT不況により期を通じてPCを初めとする情報家電部門の売り上げが低迷、売上高は全体として前年実績ならびに計画をいずれも下回る見込みであります。

一方、利益についても、一般販管費は削減努力が徐々に顕現し実を結びつつありますが、マーケットの冷え込みから、価格競争が激化、粗利益率が計画通りに進まなかったことから経常利益は当初計画を下回る見込みであります。

当期利益につきましては、不採算店のスクラップと新店舗建設に伴う既存構築物取り壊しによる固定資産除却損および有価証券評価損の計上があること、また新POSシステムのソフト不具合による前期損益修正分を特別損失に計上する予定もあり、当初予想を下回る見込みがあるため、上記の通り修正いたします。

来期につきましては、PDP、液晶TV、DVD、デジカメなど一部カテゴリーで需要が堅調なものがあり、これらの販売増強に注力しながら新店による増収も見込み、増収、増益を目指す方針であります。

(2) 連結業績については、売上高が単体の落ち込みの影響で当初予想を下回る見込みですが、Eコマース子会社の増収増益決算、通信子会社の回復等により、経常利益ベースでは当初予想は達成できる見込みであります。なお、当期利益は単体の影響があるため、上記の通り修正いたします。

4. ご参考： 前期（平成13年4月21日から平成14年3月31日まで11ヶ月と10日の変則決算）の実績

（単位：百万円）

(1) 個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	76,829	847	679

(2) 連結業績

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	90,324	1,137	918

以上